興国インテック グループ グリーン調達 ガイドライン

2025年4月 制定
興国インテック株式会社

1. はじめに

興国インテックグループは、「自主独立」の精神を礎に、仕事を通して世の中の「困り事」「悩み事」を解決することで、自分の存在意義を実感し、豊かで個性的な人格を作っていくことを行動理念に掲げています。

そのために、興国インテックグループの役員・従業員一人ひとりが、生命・安全とコンプライアンス(法令・社会規範・倫理の遵守)を最優先するという基本方針のもと、環境・人権・地域社会との調和など企業の社会的責任(CSR: Corporate Social Responsibility)を重視し、世間から信頼される健全で質の高い経営の実現を目指しています。

近年、地球温暖化の深刻化、資源枯渇の懸念、生態系の危機など、地球環境問題は、世界全体が抱える最重要課題の一つとなっています。そういった社会の環境に対する意識が高まる中で、興国インテックグループでは、事業活動と密接な関係を持つお取引先の皆様をはじめとするさまざまなステークホルダーと協働して、自社の枠を超えて、CO₂削減、資源循環、水や生物多様性の保全、化学物質による人や環境への影響低減といったグローバルな環境課題に対する取り組みを加速していくため、「グリーン調達ガイドライン」を策定致しました。

本「グリーン調達 ガイドライン」に基づき環境に配慮した調達活動を推進し、引き続きお取引先の皆様と強固なパートナーシップを基盤とした責任ある調達活動を通じ持続可能な社会への貢献及び皆様との相互発展を目指して参りたいと考えております。

皆様のご理解・ご協力をお願い致します。

興国インテック株式会社
専務取締役 環境安全部長

犬塚 明

2. グリーン調達ガイドラインについての説明

1. 目的

「興国インテックグループ グリーン調達ガイドライン」(以下、「本ガイドライン」いいます)は、地球環境への負荷が少ない購買品(*1)や梱包材などの物品(以下、「物品」といいます)の調達、すなわち『グリーン調達』を推進するため、興国インテックグループ(以下、「弊グループ」といいます)のグリーン調達方針を定め、それを購入先様にガイドラインとして開示することで弊グループの要請事項へ御協力いただくことを目的としています。

(*1)購買品とは、①ゴム配合の原材料・混練り生地(A練り・B練り)、②副資材、③補助材料、④外注製品、⑤一部の外部委託品を指します。

①ゴム配合の原材料とは、配合原簿に記載された全ての原材料を指します。

例：ポリマー、カーボン、オイル、その他のゴム薬品(加硫剤・加工助剤・老化防止剤等)

混練り生地・A練りとは、加硫系薬品が添加されていない混練り生地を指します。

混練り生地・B練りとは、加硫系薬品が添加されたフルコンパウンドの混練り生地を指します。

②副資材とは、最終的に製品を構成する部品・物質を指します。

例：金具、樹脂、基布、補強糸、両面テープ、接着剤 等

③補助材料とは、最終的に製品を構成しない製造上必要な部品・物質を指します。

例：希釈溶剤、離型剤、防着剤、脱脂剤 等

④外注製品とは、全ての生産工程を他企業へ委託している製品を指します。

⑤一部工程の外部委託品とは、生産工程の一部を他企業へ委託している製品を指します。

2. 適用範囲

本ガイドラインは、弊グループにおける物品の調達活動に適用されます。また、弊グループの製品の製造に使用・活用される金型(口金・マントル・抜き型等を含む)、設備機械(点検・補修を含む)、監視・計測機器(校正・補修を含む)や運送、その他のサービス(人材派遣等)の調達活動については、本ガイドラインの必要な項目が準用されます。

3. グリーン調達方針

1. 取引について

弊グループの製品に使用する物品を購入先様より調達するにあたっては、本ガイドラインに示す方針に基づいて、環境関連法令の順守、品質、価格、納期、サービス、技術開発力等に加え、後述する環境負荷低減の活動に意欲的に取り組んでいる購入先様(購入先様が商社である場合はその製造メーカーも含めます)との取引を優先します。

2. 物品について

上記「1. 取引について」に加えて弊グループの製品に使用する物品の調達にあたっては、次の環境負荷低減に関する諸項目を満たしている物品を優先的に採用します。

- (1)資源・エネルギー・化学物質など環境に関する法律に適合していること。
- (2)別途定める化学物質の含有量が把握されており、使用禁止物質を含有しないこと。
- (3)使用にあたり、騒音、振動、悪臭等の発生が少ないこと。
- (4)廃棄にあたり、化学物質、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染の発生等の環境負荷が低いこと。
- (5)再生資源・部品の使用、小型省資源化、省エネルギー化が図られていること。
- (6)梱包部材についても上記内容と同様、省資源、リサイクル、減量および化学物質の含有量削減等がなされていること。

4. 購入先の皆様へのお願い事項

1. 購入先様へのお願い

グリーン調達のねらいは製品開発や、工場の生産での環境保護活動を推進するために、環境に配慮した購入先様から環境負荷の少ない物品の調達に努め、循環型社会の構築に寄与することにあります。そのため、購入先様に以下のお願いをします。

2. 環境マネジメントシステムの構築・整備

環境マネジメントシステムの構築・整備について、購入先様に求める基準を以下に示します。

- (1)ISO14001 を基本とした環境マネジメントシステムの構築・整備に努め、環境保全活動を組織的に管理推進し、改善を継続的に実施している。

3. 製品含有化学物質管理

製品含有化学物質の管理について、購入先様に求める基準を以下に示します。

- (1)必要時に求める製品含有化学物質の含有量調査等に応じることができる。
- (2)含有量調査結果、法令・条令等の新規施行・改正等により、違反・禁止等に繋がる懸念事案が判明した場合、速やかに対策検討・是正対応を行う。
- (3)貴社の調達先に製品含有化学物質の適正管理を行うよう求めている。

4. 環境負荷低減

弊グループは、自社の企業活動はもとよりサプライチェーン全体で、環境との調和ある成長のため、地球環境に配慮した活動を継続して行きます。購入先様に求める基準を以下に示します。

- (1)カーボンニュートラルの実現をめざし、製造工程全体での温室効果ガス排出量の把握や目標を定めての削減に取り組んでいる。また、再生可能エネルギーの利用拡大に取り組んでいる。
- (2)大気汚染・水質汚濁・騒音・振動等の防止に関する自主管理値を設け、管理している。
- (3)地域の水資源に関するリスクや貴社の水使用量を把握し、リスクの低減や目標を定めての使用量削減に努めている。
- (4)廃棄物の削減・再資源化について、目標を定め改善に努めている。また、廃棄物の排出や処理、再資源化にあたっては、有害物質の管理を含む関連法規等を遵守し、適正に行っている。
- (5)梱包材料・包装材料の簡素化、回収システムの確立等により環境負荷を低減する活動を実施している。

5. 生物多様性保全

生物多様性の保全について、購入先様に求める基準を以下に示します。

- (1)生物多様性対して、最大限配慮し、自然共生社会の構築に向けた取り組みを実施している。

5. 運用

1. 補足事項

- (1)弊グループ事業場は、立地する国の法律、条例、規則等や、事業形態、顧客要求などにより、本ガイドラインと異なるお願いをすることがあります。このような場合、購入先様は、弊グループ事業場の要請を優先するものとします。
- (2)購入先様から調達する物品に求める環境負荷物質などの具体的な環境配慮事項の基準は、弊グループの各事業所より示すこととします。